

ふうあいおたより

2021
vol. 32



活動記録アーカイブを発行しました

『歩みの軌跡』

3.11広域避難を支えた茨城 10年の記録』

茨城県内の当事者グループ、支援団体、専門機関、行政機関など48団体の活動の記録、今後に向けた提言について整理しました。アーカイブは、茨城県立図書館、ふうあいねっと事務局で閲覧することが出来ます。

『歩みの軌跡』

3.11広域避難を支えた茨城 10年の記録』発行に寄せて

茨城県防災・危機管理部
防災・危機管理課長
飛田 聡志さん

このたび、「歩みの軌跡」を発行されましたことを心からお祝い申し上げます。

東日本大震災発生から10年が経過しましたが、これまで一般社団法人ふうあいねっとの皆様が、震災を経験した避難者の方々に寄り添った支援を続けておられることに改めて感謝申し上げます。

こうした支援の記録をとりまとめた「歩みの軌跡」は、今後の被災者支援に資することができる貴重なものであり、次世代に引き継いでいただきたいと存じます。当県といたしましても、被災された皆様が平穏に暮らせるよう、引き続き国や市町村等と連携し、力を尽くしてまいります。

結びに、被災された皆様、一般社団法人ふうあいねっとほか、全ての関係の皆様のご多幸、ご健康を心よりお祈り申し上げます。



福島県避難者支援課茨城駐在 高木 健吾さん

今年度から茨城県駐在となりました高木健吾と申します。

震災から10年が経過しましたが福島の復興は、いまだ道半ばであり、さらに今はコロナ禍の影響で中々皆様にお会いするのが難しい状況が続いていますが、「ふうあいねっと」様を始め、茨城県の復興支援団体の皆様と共に、避難されている方々の不安を少しでも取り除くことが出来るよう精一杯活動してまいりたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。最近メタボが気になりジム通いしています。

福島県避難者支援課 TEL.024-523-4157

福島県から、福島県県外避難者支援拠点事業を受託しています。

よろず相談受付中!お気軽にご連絡ください

相談日:毎週火・水・木曜日(9:30~16:30)

Eメール fuai.soudan@gmail.com

TEL.070-3182-4044



よろず相談員

北澤 安芸(左)

二ツ森 千尋(右)

大里 千恵子

浪江町への復興支援員事業に関する要望書

浪江町の当事者グループ2団体とともに、令和3年2月28日付で、浪江町に要望書を提出しました。令和3年度から浪江町復興支援員事業が規模縮小されることに対し、見直しを求める内容です。浪江町からは4月22日付で回答をいただきました。

詳しい内容を知りたい方は、事務局までご連絡ください。

ふうあいねっと代表理事 原口弥生



(前号につづき、沖縄・宮古島で9年を過ごした鎌田さんのお話しをご紹介します)

宮古島と福島を結ぶ かけ橋となれるように

鎌田 昭三さん(南相馬市)

宮古島に来て、福島がどんなふうになっているか福島民友・民報を見に図書館へ行った時に、福島の人と偶然会い、「誰か知っている人いるかい？」なんて話になり、意気投合しました。社会的に良好な関係を作る活動は必要で、でも一人ではどうすることもできない。自分と同じような思いをしている人が何人かでもいるのであれば、つながりを持ちましょうというのが会を作るきっかけでした。

我々は年単位で帰れないけれども、縁があって宮古島に来ていました。それならば宮古島と福島を結ぶかけ橋のようにとの想いをこめて「虹の会」という名前をつけました。みんなが集まれる場所があって、月一回くらい会ってお互いの無事を確認できたらいいなと。避難者の情報を集めるのには、社協や弁護士が協力してくれました。他にも、地元の人たちと「うむい宮古島」*というグループで「笑顔カレンダー」づくりをして、このカレンダー販売は福島から宮古島への保養活動の資金源となりました。保養に来た子ども達はもちろん、親も宮古島の自然の中で安心してのびのびと過ごすことができました。島に来た時は「おかえり」と迎えて、帰る時にはお互い涙の別れでした。「10年間はこういったことをやんなくちゃいけない」ってことで、地元の人と福島の想いを引き継いで、一緒にやってきました。

*うむい宮古島は、「宮古島を想う」という意味です。



鹿嶋市のご自宅のお庭にて

奥歯を噛みしめて下を向くしかない

孤独というもののほどみじめなものはないし、つらいものはないと思っています。人と人とのつながりとか関わりを大切にしたいという想いは人よりも強いかもしれません。原発事故が起こって、突然住んでいたところから追い出されたわけですから、今までのつながりを全部失ってしまったんです。

慰問で来る人が「ふるさと」の歌を歌ったりするけれど、我々にとっては本当につらいです。「ふるさと」は「故郷に錦を飾る歌」ですよ。それを歌われることはとても耐えられない。我々は奥歯を噛みしめて下を向くしかないです。(歌手は)寄り添っているつもりでしょうけど、我々は心の奥底に傷を抱えているんです。

お急ぎください! 損害賠償請求はお済みでしょうか?~私の場合

自分で書類を作成するのも大変で、なかなか進まなかったこともあり、東京電力に書類作成してもらいました。わが家は対面で、ある項目の賠償を直接請求し、賠償金を受取りました。

まず、手元にある請求書と必要書類を持参し(請求書がない場合は東電から送付してもらう)、予め約束しておいた茨城県内の東京電力の会議室へ行きます。場所は約束時に決めます。ご自宅でも可能です。

計算や記入、必要書類の確認は東電社員が行い、私たちの作業は内容の確認とサインくらいだったと思います。書きあ

がった請求書のコピーは希望すればもらえます。手元に置いて請求内容を確認できますね!

時間的に一回の対面でのやり取りは1~2時間。書類の整理次第で時間などは左右されます。投函して請求終了。おおよそこんな流れです。賠償金の入金には時間かかるので確認した方が良さそうです。

請求漏れがないようにこれは対象になるのか、書類はどうすれば?まずは無料相談などに相談してみてください。請求しないことには賠償金は受取れません!

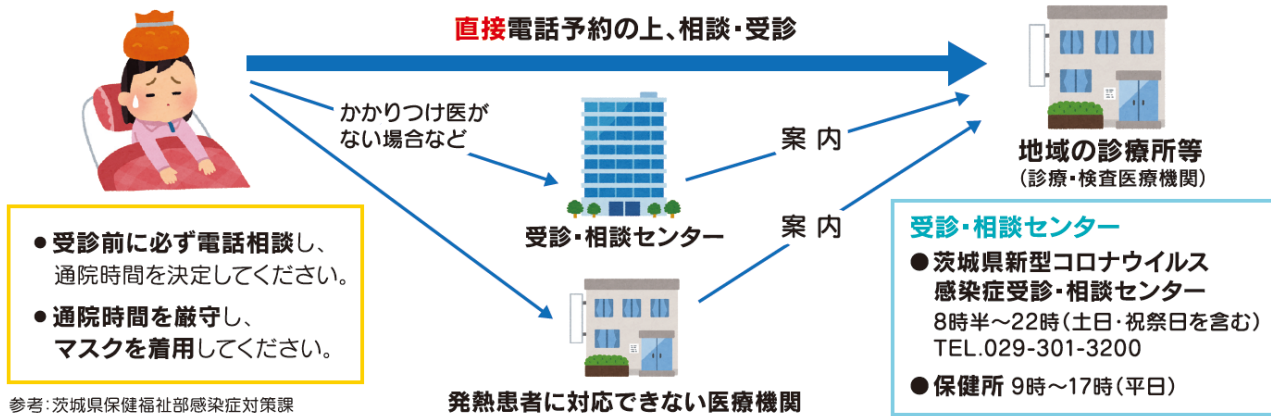
(水戸市・女性)

よろず相談コーナー

もし、熱などの症状がでた時は？

まずは、かかりつけ医に電話連絡をしてください。かかりつけ医がない場合は、近隣の診療・検査医療機関を案内していただけますので、受診・相談センターにご相談ください。

茨城県新型コロナウイルス感染症受診・相談センター TEL.029-301-3200



ホテル療養になった時に持っていくと良いもの

用意されているものは、ホテルや地域によって違います。以下に記載したものでも、施設にあるものもあります。必ず事前に、自治体のHPなどで注意事項を確認してから準備しましょう。

- 前びらきのパジャマ2着・肌着・下着(日数分)
 - トレーナーorパーカー1着・ズボン1着・靴下1足
 - スリッパ 毎回、靴を履くのが面倒
 - バスタオル・タオル(タオルを多く持っていくもよし)
 - シャンプー・リンス・歯磨き粉・洗濯用洗剤 普段使っているもの
 - 身体を洗うナイロンタオル
 - ふりかけ・インスタントの味噌汁やスープ(春雨スープなど) 毎食お弁当なので
 - 小分けのお菓子・ゼリー 気分転換に
 - スティックタイプの飲料・野菜ジュース
 - マグカップ・お箸・お椀・スプーン
 - ペットボトル用のストローキャップ
 - 食器用洗剤 ふきん
 - マスク・耳かき・爪切り
 - BOXティッシュ・ウエットティッシュ・ビニール袋
 - 延長コード・充電器
 - 現金(千円札・小銭)・保険証・身分証明書
 - 常備薬・お薬手帳・スキンケア用品・生理用品(女性)
- 人によっては使うもの**
- 枕
 - 鼻うがいキット・楊枝・歯間ブラシ
 - 帽子 寝ぐせのままでも帽子をかぶってお弁当を取りにいける
 - リップクリーム・保湿クリーム ホテルの中は思ったより乾燥している
 - 小さい加湿器 乾燥するとのがカサカサになるので
 - HDMIケーブル・スピーカー・イヤホン・書籍・ノートPC等
 - 折りたたみ傘

1年を通して、フードバンク茨城とともに食料品を必要な方へお届けしています。ふうあいねっとまで、ご遠慮なくお問い合わせください。

パルシステム茨城 栃木は、福島第一原発事故により被害に遭われた皆様を“忘れない”を合言葉に支援し続けます。



生活協同組合パルシステム茨城 栃木
本部/〒310-0022 水戸市梅香2-1-39 TEL.029-227-2225
<https://www.palsystem-ibaraki.coop/>

いばらきコープは、組合員から寄せられた募金を活用して「福島の子ども保養プロジェクト(通称:コヨット)」など、福島の皆さまを応援する取り組みをすすめています。



いばらきコープ

食卓を笑顔に、地域を豊かに。

〒319-0120 小美玉市西郷地1703 TEL.0299-48-3243
<http://ibaraki.coopnet.or.jp/>

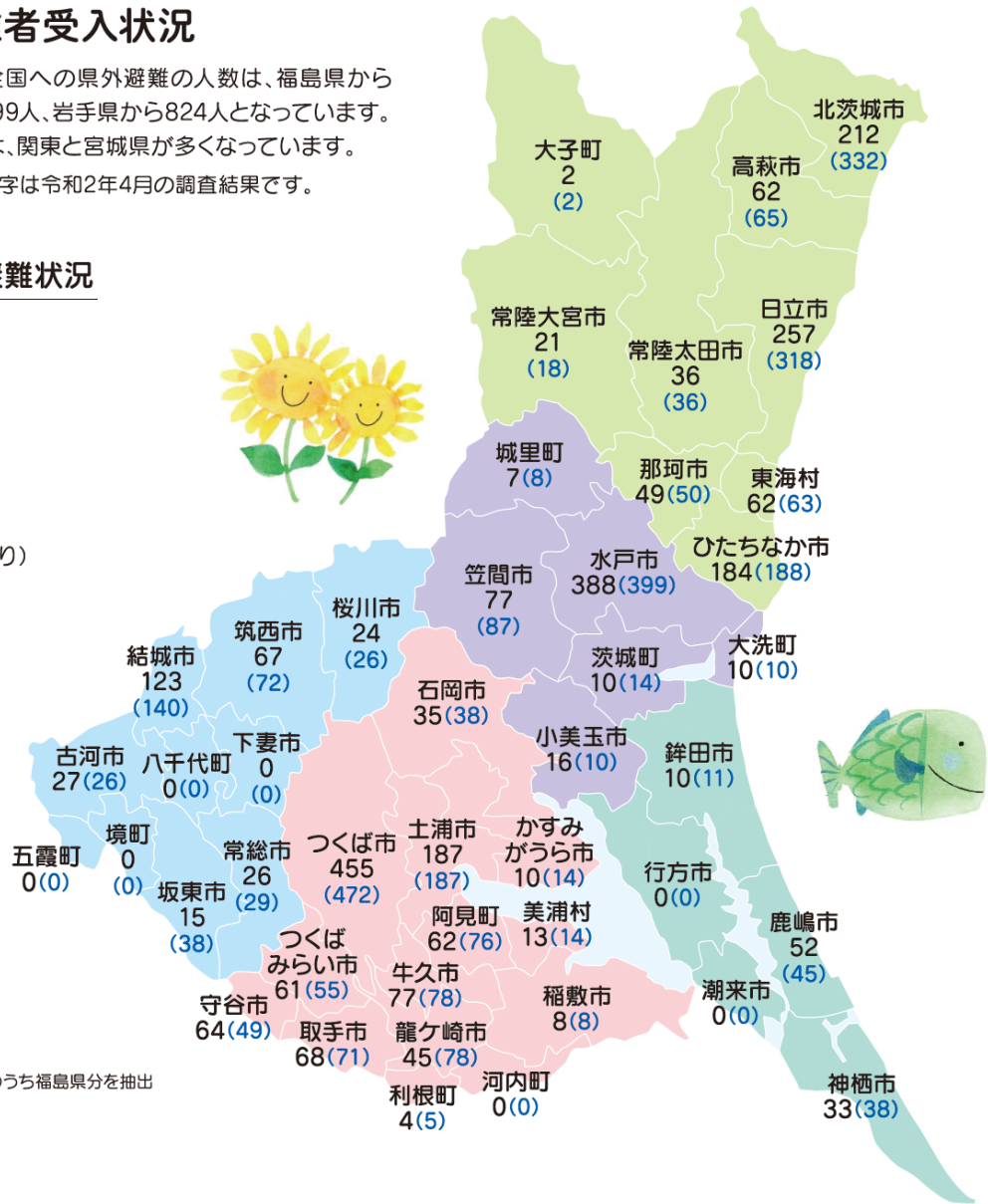
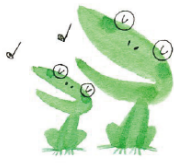
茨城県内の避難者受入状況

令和3年4月9日時点で、全国への県外避難の人数は、福島県から28,171人、宮城県から3,599人、岩手県から824人となっています。福島県からの県外避難先は、関東と宮城県が多くなっています。

※令和3年4月現在。()の数字は令和2年4月の調査結果です。

福島から県外への避難状況

- 1.東京都 2908人
 - 2.茨城県 2859人
 - 3.宮城県 2730人
 - 4.栃木県 2660人
 - 5.埼玉県 2597人
- (福島県避難者支援課HPより)



※復興庁「全国の避難者数」調査のうち福島県分を抽出

ふうあいねっと事務局長交代のごあいさつ

2021年3月末をもって、ふうあいねっとの事務局長を退任いたしました。私自身、地域でのボランティア活動をしていましたが、非営利組織の管理運営経験は全くなく、試行錯誤の連続でした。しかし、2016年の着任以来、皆様には本当にあたたかく支えていただきました。心からお礼申し上げます。今後は、よろしく相談員として活動を続けていきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

大里 千恵子

このたび事務局長を務めることになりました小野田真澄と申します。

私は、福島県双葉町出身で、平成29年1月に水戸市にきました。当時は不安に心が揺らいで、ふうあいねっとより目を通すゆとりもありませんでした。翌年、ふうあいねっとのご縁を得て活動に参加させていただき、少しずつ自分を取り戻しました。そして今、前事務局長大里さんの後を引き継いでいます。

原口代表の下、スタッフと共に精一杯活動して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



小野田 真澄

ご寄付ありがとうございます 皆様のお気持ち大切にさせていただきます
渡邊 民子様 斉藤 正美様 田中 清子様 目黒 由美様 梶台 俊夫様
天井 優志様 生活クラブ生活協同組合 茨城県

事務局移転のお知らせ!

2021年4月より、ふうあいねっと事務局が、県庁近くの茨城県総合福祉会館(水戸市千波町)の1階に移転しました!お近くにお越しの際は、ぜひお寄りください(駐車場あり)。2014年から6年間、茨城大学には事務局を置かせていただき、また温かいご支援いただきましたこと心よりお礼申し上げます。

発行・お問い合わせ先

一般社団法人ふうあいねっと

〒310-0851茨城県水戸市千波町1918茨城県総合福祉会館

TEL・FAX.029-241-5803

Eメールfuai.sta@gmail.com

事務局携帯TEL.070-3182-4044

ふうあいねっと公式LINEできました!
お友達登録をお願いします!



令和3年度福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業